

教育長日記 (平成30年9月3日)

青い空に浮かぶ 白い雲 140

—100人の歌声 東大和の子— 東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

(今日の一言) 私には「その時、叱ってくれた先生」がいた (ま)

平成30年度 全国学力・学習状況の調査結果 「理科」

教育長日記の139号に国語と、算数・数学の調査結果を示しましたが、今年度新しく全国実施した小・中「理科」の調査結果については、掲載スペースが足りなかったため、この140号にて掲載します。

小 理科	全国	東京	東大和	国との差
平均正答率	60.3	62.0	58.0	2.3

中 理科	全国	東京	東大和	国との差
平均正答率	66.1	65.0	61.0	5.1

100人の歌声

東大和市には「東大和市少年少女合唱団」があります。誕生して既に11年が過ぎました。

合唱団の結成時は、団員もそれほど多くはなかったのですが、当時、第十小学校の音楽担当千田鉄男先生(現在第二小学校教員)のリーダーシップと各学校の音楽の先生たちの協力により、その後、年々参加者が増え、今では百人を超える大少年少女合唱団に成長しました。

東大和市少年少女合唱団の特色は、その構成が、小学生から高校生までという幅広い年齢層の中で、互いの声の美しさを認め、励まし、助け合いながら、これまでずっと活動を続けているという点です。

先日の「東大和市平和市民の集い」でも、「少年少女合唱団100人の澄んだ声」を聴かせてもらいました。平和の大切さや素晴らしさ、感謝の気持ちや責任感などを考えながら、素晴らしい時間を過ごすことができました。

東大和市 少年少女合唱団



曲名

- ① あしたをつくる うた
- ② 地球星歌
- ③ ふるさと
- ④ HEIWAの鐘

5分間読書 「小説 星守る犬」 原田マハ

教育長日記127号で、私の「モノレール読書」を紹介しました。朝、モノレール立川南駅7時55分に乗車すると、終点上北台駅までの所要時間はたったの15分、運よく座れたところから始まる「モノレール読書」。

先日、ようやく読み終えた「星守る犬」は、厚さ1cm弱、それを読み終えるまで2ヶ月かかりました。読んで数日休み、また読んで休み、再び読もうとする時には、それまでの筋書きを忘れてしまっていて、また、数ページ戻って読み直しをするの〜んびり読書です。

「小説 星守る犬」は、村上たかしさんのコミックを、原田マハさんが小説化したものだそうです。

原田マハさんは、あとがきとして「(前略) 私には、かつて、11年間を共に暮らした犬がいた。(中略) 人間に一途に寄り添う犬という生き物を、物語の中で生かしてやりたい、と強く思うようになった。それが私にできる愛犬への弔いであり、犬という得難い相棒の存在を、私を含む多くの人間が忘れないように、との祈りでもあった」と記されています・・・ぜひ。